景　気

大阪府景気観測調査結果

平成３０年１～３月期

大阪産業経済リサーチセンター

 《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/keikikansoku.html>　》

　大阪府商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。平成30年１～３月期の調査結果の概要は次のとおりです。

**［景気は、緩やかな拡大基調にあるが、やや一服感］**

1. 今期の業況判断ＤＩは製造業で悪化したことから、全産業では６期ぶりに低下した。





景　気

1. 主な項目のＤＩをみると、資金繰りＤＩや営業利益判断ＤＩ、製・商品単価ＤＩなどが改善したものの、出荷・売上高ＤＩのマイナス幅がやや拡大するなど、緩やかな拡大基調にあるがやや一服感がみられる。雇用は、３期連続でプラス幅が拡大し、来期の雇用は規模・業種に関係なくＤＩのプラス幅が拡大する見通しである。



※ＤＩは「上昇又は増加等の企業割合(％)」から「下降又は減少等の企業割合(％)」を差し引いたもので、プラスは上昇・増加

・黒字基調・順調等の企業割合が上回り、マイナスは下降・減少 ・赤字基調・窮屈等の企業割合が上回ったことを示す。

３．30年４～６月期の業況ＤＩは、非製造業や中小企業で弱含み、全体では横ばいの見込みである。

